

The logo for Okamoto, featuring the word "okamoto" in a white, lowercase, sans-serif font inside a green rounded square. A vertical white line is positioned to the left of the text.

okamoto



第122期

株主通信

2017.4.1 ▶ 2018.3.31

New Basic

身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

健康的で快適な人間生活に寄与する 製品づくりを目指して

「株主の皆様へ」 - ご挨拶 -

株主の皆様には、平素よりひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年6月28日（木）の当社定時株主総会ならびにその後の取締役会におきまして、代表取締役社長となりました田村俊夫でございます。岡本良幸代表取締役会長同様にご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ここに当社第122期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

田村 俊夫

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いており、家計の節約志向は続いているものの、個人消費は緩やかに持ち直してきております。また、世界経済は緩やかな成長が継続する一方、一部新興国等の経済減速や地政学的リスクの高まり、通商問題の動向、金融資本市場の変動等、海外情勢の動向は依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは、コスト削減と販売力の拡充に努め、引き続き経営の効率化及び合理化を図ってまいりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は900億89

百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は101億55百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益は109億26百万円(前年同期比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は68億20百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

期末配当金は1株当たり10円とし、年間配当金では1株当たり19円とさせていただきます。

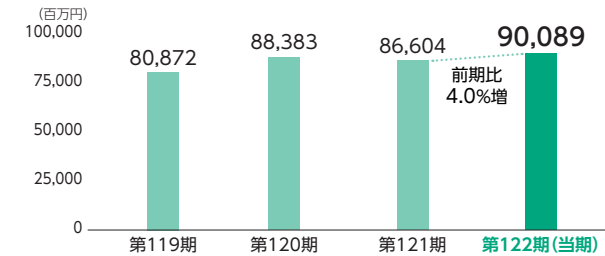
今後も持続的な成長を果たすために、多様化する製品ニーズを的確にとらえて、変化に対応した製品開発を行い、新たな需要の開拓や品質の向上を図るため積極的な設備投資を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

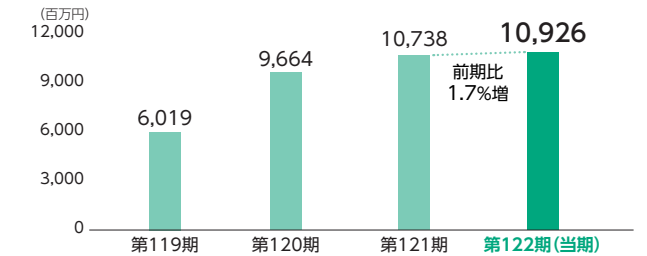
主要連結財務データ

	第119期 2015年3月期	第120期 2016年3月期	第121期 2017年3月期	第122期(当期) 2018年3月期
売上高	80,872 百万円	88,383 百万円	86,604 百万円	90,089 百万円
営業利益	4,561 百万円	8,237 百万円	10,431 百万円	10,155 百万円
経常利益	6,019 百万円	9,664 百万円	10,738 百万円	10,926 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,880 百万円	5,067 百万円	7,952 百万円	6,820 百万円
1株当たり当期純利益	29.07 円	51.52 円	80.95 円	69.89 円
総資産	83,385 百万円	86,284 百万円	94,972 百万円	108,116 百万円
純資産	47,007 百万円	49,208 百万円	57,016 百万円	65,216 百万円
1株当たり純資産	476.81 円	500.83 円	580.38 円	643.79 円
配当	10.00 円	11.00 円	15.00 円	19.00 円

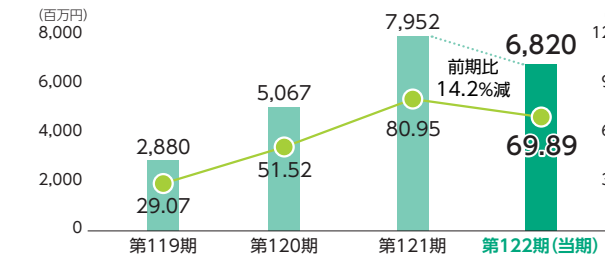
● 売上高



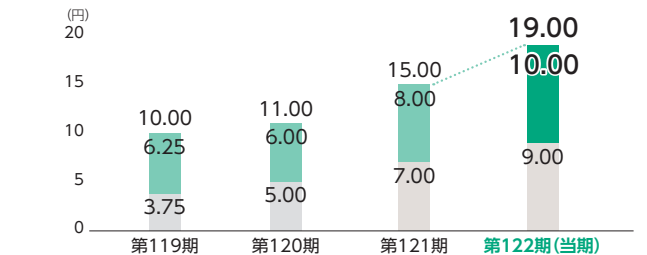
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



会社概要・株式の状況

会社概要 (2018年3月31日現在)

社名	オカモト株式会社
設立	1934(昭和9)年1月10日
資本金	13,047,630,757円 (東証1部上場銘柄)
従業員数	1,069名
本社	〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号 電話(03)3817-4111(代表)
大阪支店	〒540-0022 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号 電話(06)4793-8500(代表)
名古屋営業所	〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1丁目901番地 電話(052)933-1171(代表)
福岡営業所	〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号 電話(092)557-2600(代表)

役員 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長	岡本 良幸	取締役	野寺 哲生
代表取締役社長	田村 俊夫	取締役	高橋 慶太
専務取締役	矢口 昭史	取締役	田中 祐司
専務取締役	池田 佳司	取締役	福田 昭彦
専務取締役	岡本 邦彦	社外取締役	相澤 光江
常務取締役	高島 寛	取締役(監査等委員)	有坂 衛
常務取締役	岡本 優	社外取締役(監査等委員)	深澤 佳己
取締役	土屋 洋一	社外取締役(監査等委員)	荒井 瑞夫
取締役	田中 健嗣		
取締役	河村 智		

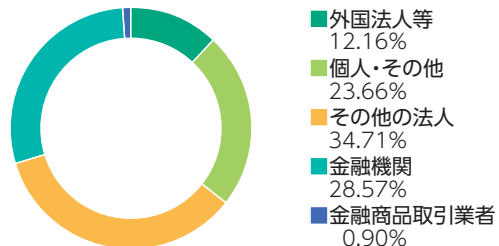
株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	96,538,972株(自己株式を除く) ※上記より控除した自己株式数5,457,867株
株主数	6,330名
大株主	

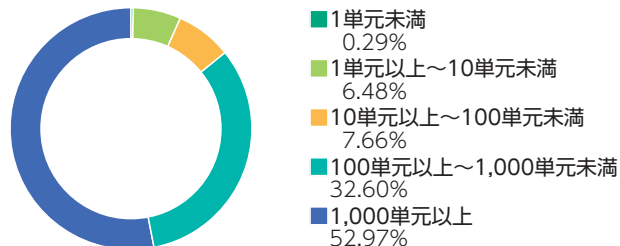
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,426	7.69
丸紅株式会社	7,211	7.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,163	7.42
株式会社みずほ銀行	4,805	4.98
有限会社八幡興産	3,530	3.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,164	3.28
やよい会	3,024	3.13
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,444	2.53
平井商事株式会社	1,886	1.95
みずほ信託銀行株式会社	1,794	1.86

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 7,163千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 3,164千株
みずほ信託銀行株式会社 122千株
2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対する割合です。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



女性活躍の推進に取り組んでいます。

当社では、女性が出産・育児などのライフイベントを迎えてもキャリア意識を持って活躍し続けられるような環境づくりに取り組んでいます。また、継続的に女性管理職を輩出するため、管理職候補を育成し、次世代リーダー層の拡充を図っています。

● 仕事と家庭の両立支援

当社では、社員が出産・子育てをしながらも仕事を両立できるよう、産前産後休暇・育児休業の他、1日2時間、小学校入学前のお子さんを対象とした短時間勤務の制度を設けています。今後も人材の多様性の確保と能力を十分に発揮できる職場環境を整えてまいります。

育児休業実績

2015年	2016年	2017年
16名 (女性15名・男性1名)	13名	9名

● オカモト女視プロジェクト

当社では、女性の視点・消費者の立場からものづくりを行う、女性社員で構成されたプロジェクト“もっとgood!女視プロジェクト”という活動を行っております。月2回活動し、女性ならではの視点や現行商品の改善点について意見を出し合い、商品開発に向けてのサポートを行っております。



女視プロジェクト会議の様子

第122期は、家庭用手袋「カシニーナ」3種、除湿剤「水とりぞうさん®どこでもテトラ」、一般医療機器「温熱シート 温女子 4枚入」を商品化いたしました。



家庭用手袋「カシニーナ」



水とりぞうさん®
どこでもテトラ



温熱シート
温女子
4枚入

産業用製品部門

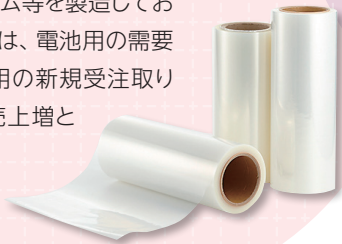
産業用製品部門の中心は、原油由来の原材料からフィルム(フィルム)シートを製造し、他の事業者へ供給することにあります。そのため、為替相場や原油価格の大幅な変動による原材料価格の高騰や燃料費の高騰の影響を受けやすい環境にあります。

そのような事業環境のなか、引き続き工場の生産性のさらなる向上に努め、新規顧客の開拓などに注力し、また理研コランダム(株)を連結範囲に含めたことで、第122期の業績は、28億円の増収(前年同期比5.2%増)となりました。

63.7%

多層フィルム事業

多層フィルム事業では、レトルト食品包装等の食品用フィルム・輸液バッグ外装等の医療用フィルム・リチウムイオン電池外装に使用する電池用フィルム等を製造しております。当期は、電池用の需要拡大と食品用の新規受注取り組みにより売上増となりました。



農業用フィルム

農業用フィルムでは、ポリ塩化ビニル(PVC)及びポリオレフィン(PO)を原料として、農家のビニルハウス用フィルムを製造しております。農POフィルムと露地向けPVCフィルムの販売に傾注し、売上増となりました。



フレキシブルコンテナ事業

フレキシブルコンテナ事業では、原油由来の樹脂や飼料などを保管・運搬するためのバッグを福島工場で製造しております。当期は、需要が減少し、売上減となりました。



フィルム事業

フィルム事業のうち、一般用・工業用フィルム事業では、手帳等の文具・工場の間仕切りや養生用・クリアフォルダ・看板広告等の広告宣伝物等に用いられるフィルムを製造しております。当期は、工業用フィルムの海外向けアイテムが好調で、売上増となりました。

また、建材工業用フィルム事業では、2次加工品を中心に、ユニットバス用・自動車用・宣伝広告メディア用等の分野で市場のニーズに幅広く対応しています。当期は、自動車用が在庫調整の影響で売上減となりました。



壁紙事業

壁紙事業では、静岡工場デザインセンターでのデザイン開発力及び技術力を通じ、顧客ニーズに応えながらさまざまなデザインや機能をもった壁紙を製造しております。

壁紙の専用工場であるつくば工場も稼働開始し、更に多くのご要望にお応えしてまいります。

販売は前期に引き続き、集合住宅向けが堅調で売上微増となりました。



自動車内装材事業

自動車内装材事業では、自動車のダッシュボード・座席・ドア等に使用される内装表皮のほか、二輪車座席用・家具用プラスチックレザーを製造しております。当期は、中国及びアジア向けが堅調でしたが、北米向けがピークを過ぎ、売上横這いとなりました。



食品衛生関連事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品衛生関連事業では、食品関連事業者向けに食品用ラップフィルム及び手袋を、また一般家庭向けに食品用ラップフィルムを製造・販売しております。当期は食料品スーパーでの新規採用増により、売上微増となりました。

また、食品用脱水・吸水シート事業では、肉や魚などの食材を脱水・調湿する「ピチットシート」等を製造・販売しております。当期は、北海道・東北地方での天然魚の不漁の影響がありましたが、食料品スーパー等での新規採用により、売上微増となりました。



粘着テープ・工業用テープ事業

粘着テープ事業では、ホームセンターなどで購入できる粘着テープ・物流業者向け梱包用テープだけではなく、住宅用防水テープ・産業用特殊テープ等を製造しております。

また、工業用テープ事業では、スマートフォン部材用テープ・家電メーカー向け固定用テープ・自動車向けテープ等を製造しております。

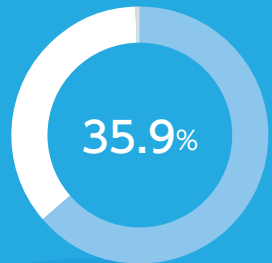
粘着テープは、ホームセンターなどの小売店向けの販売が低調でした。工業用テープは、電材用が低調でしたが、車輻用の販売が堅調で、売上横這いとなりました。



生活用品部門

生活用品部門は、コンドーム・除湿剤・カイロ・家庭用手袋など消費者の皆さまに直接お使いいただく製品が中心ですが、業務用手袋・滅菌器など事業者向けの製品もございます。

全国的に降水量が少なく除湿剤・雨衣・ブーツなどの天候に販売が左右される製品は落ち込みましたが、コンドームのインバウンド需要の勢いは緩やかになりつつも「オカモトゼロワン」を中心とする薄物商品が堅調でした。また、海外市場においても引き続き0.03mm台の薄物商品が好調に推移した結果、第122期の業績は5億円の増収(前年同期比1.5%増)となりました。



除湿剤事業

除湿剤事業では、“水とりぞうさん®”のブランドで除湿剤を販売しております。

当期は、場所をとらないコンパクトサイズの“水とりぞうさん®どこでもテトラ”を発売し、全面吸湿体のテトラ型形状が、ご好評をいただいております。ブランド力のさらなる強化と、商品ラインアップ強化により、梅雨時期だけでなく、秋雨、冬季の結露企画など年間を通しての企画提案が可能になり、梅雨時期、秋雨時期以外のオフシーズンの販売にも取り組んでいます。



コンドーム事業

コンドーム事業では、茨城工場及びタイ工場の2拠点体制で製造を行い、天然ゴムラテックス製及び水系ポリウレタン製のコンドームを製造・販売しております。また女性用の使い切りビデも茨城工場で製造し販売を行っております。

当期は国内市場でのインバウンド需要の勢いは緩やかにりましたが、薄物商品である0.01mm台の水系ポリウレタン製コンドーム“オカモトゼロワン”が依然として堅調で、売上微増となりました。また、海外においては、中国を含むアジア地域で、0.03mm台の天然ゴムラテックス製コンドームが薄物高付加価値品として人気があり、売上増となりました。



カイロ事業

カイロ事業では、『貼るカイロ』『貼らないカイロ』を茨城工場にて製造しております。“快温くん”“温菜”という従来からのブランドに加え、“快温くんプラス”シリーズも展開しお客様のご要望に応える付加価値商品もラインアップして販売を行っております。今期末には“温熱シート温女子”を上市し、年間を通じて女性のご要望に応えるようこの春より販売を開始しております。



手袋事業

手袋事業では、茨城工場及びタイ工場において家庭用・炊事用手袋・作業用手袋のほか、精密機器メーカーのクリーンルーム用手袋等を製造・販売しております。工業用向けのクリーンルーム用手袋では、タイ工場にISOクラス4のクリーンルームを持ち、国内メーカーとしては唯一、手袋成形から超純水洗浄、クリーンパックを一貫して製造しています。当期は、炊事用手袋及び工業用が好調でしたが、その他用途の販売が減少し売上減となりました。



メディカル事業

メディカル事業では、国内子会社が製造する医療機関向け滅菌器のほか、医療従事者及び介護従事者向けの手袋を販売しております。当期は、滅菌器は、歯科関連が好調でした。



ブーツ・雨衣事業

ブーツ・雨衣事業では、国内とベトナムの自社工場、中国協力工場にて製造しホームセンターを中心に長靴・雨衣・安全スニーカーを販売しております。

また「Wrangler」「LOTTO WORKS」といった有名ブランドのライセンス製品の販売もしております。当期は、1月の関東地方の大雪の影響でブーツが好調でしたが、年間を通じて降雨日が少なく、売上減となりました。



その他事業

群馬工場跡地(群馬県太田市)の合計57,000㎡の敷地にソーラーパネルを設置し、最大出力として合計約4,000kWhをもって太陽光発電事業を行っております。

再生可能エネルギーの安定供給に努め、今後も社会に貢献してまいります。



オカモトの技術を支える国内生産拠点・海外拠点

当社グループでは、ゴム・プラスチックの総合メーカーとして、国内生産拠点をはじめ、広く海外にも拠点を構え、日本国内拠点はもとより米国・アジアをはじめとしたグローバル市場でも多様化するお客様のニーズに対応し、大きな躍進を続けております。変化の激しいグローバル市場においても国内同様、高い技術力、また厳正な品質管理のもと、世界中で「オカモトブランド」への信頼感を高めてまいります。

国内生産拠点

●静岡工場

所在地：静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
生産品目：ビニルフィルム、ビニルレザー、農業用フィルム、ビニル壁紙、車輻内装材など

●茨城工場

所在地：茨城県龍ヶ崎市板橋町字西山1番地
生産品目：コンドーム、粘着テープ（包装用、建材用、工業用）、手袋、カイロ、食品用脱水・吸水シート

●福島工場

所在地：福島県いわき市平赤井字日渡71番地
生産品目：ラップフィルム、ポリプロピレンシート、除湿剤、ゴムバンド、インジェクションブーツ、ホウ酸ダンゴ

●つくば工場 (2018年より稼働しております)

所在地：茨城県牛久市桂町2200-2
生産品目：壁紙

海外拠点

タイ

- Siam Okamoto Co.,Ltd.
事業内容：ラテックス手袋の製造
- Okamoto Rubber Products Co.,Ltd.
事業内容：コンドームの製造
- Apolltex Co.,Ltd.
事業内容：ポリエチレン手袋の製造

ベトナム

- Vina Okamoto Co.,Ltd.
事業内容：ゴム長靴の製造
- OKAMOTO VIETNAM Co.,Ltd.
事業内容：雨衣の製造

中国

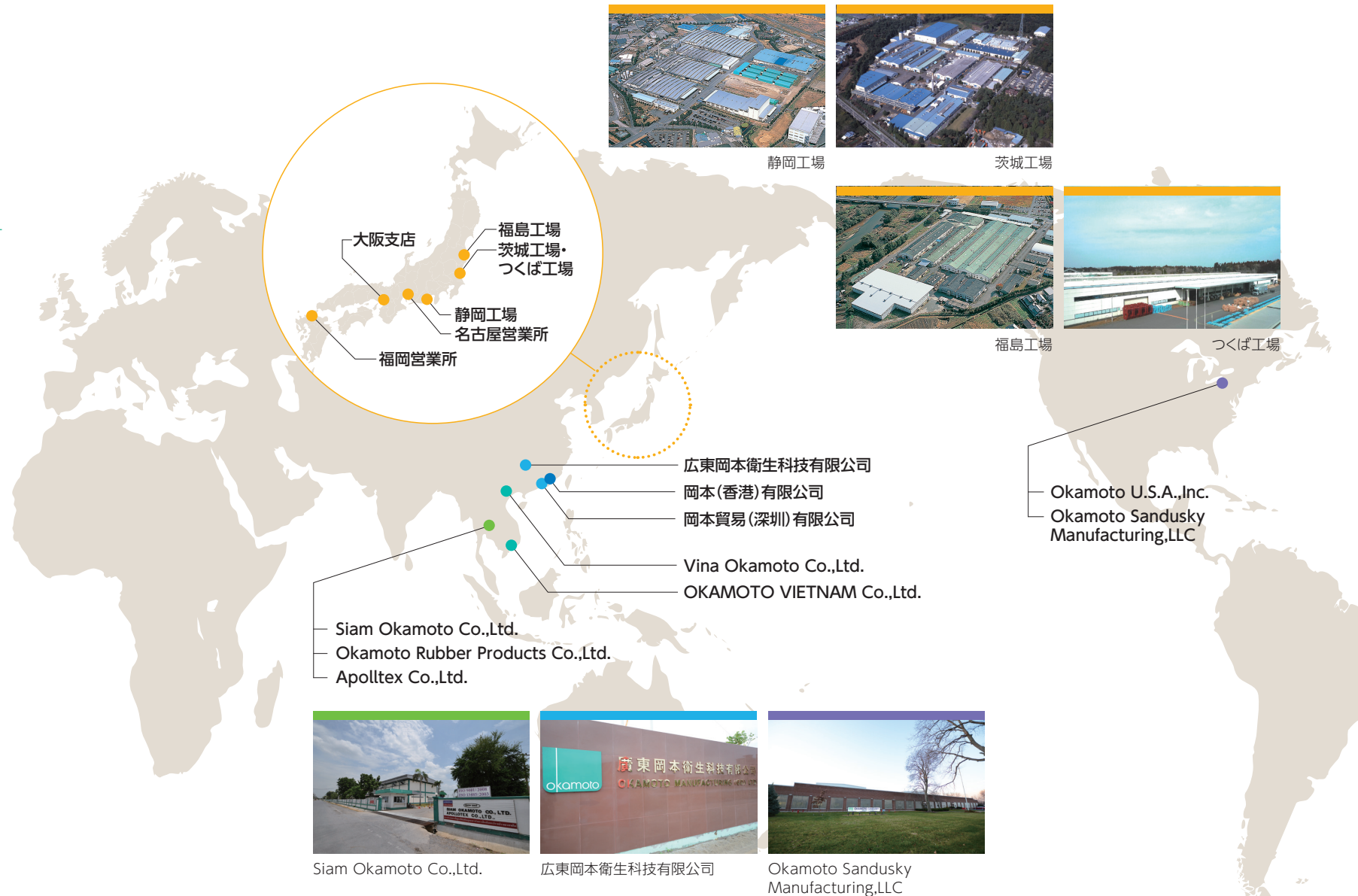
- 岡本貿易(深圳)有限公司
事業内容：車輻レザーの輸入販売、コンドームの輸入販売
- 広東岡本衛生科技有限公司
事業内容：コンドーム製造

香港

- 岡本(香港)有限公司
事業内容：産業用製品、シューズ、衣料、スポーツ用品、医療・日用品の販売

米国

- Okamoto U.S.A.,Inc.
事業内容：産業用製品、医療・日用品の販売
- Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC
事業内容：車輻内装材の製造、販売



つくば工場 新設

当社は、2018年3月に茨城県牛久市に壁紙専用のつくば工場を新設いたしました。壁紙の多様な顧客ニーズに対応するため、従来の静岡工場（静岡県榛原郡吉田町）に加え、茨城県牛久市において壁紙生産設備の導入を図ることにいたしました。

これより、静岡工場ならびにつくば工場においても壁紙の生産が可能となり、高度な品質要請への対応と生産能力の向上により、壁紙事業の一層の拡充を図ってまいります。



つくば工場

「1月19日はイチジク浣腸の日」

2018年1月19日のイチジク浣腸の日に「イチジク浣腸」の認知拡大と商品理解を図るための話題化プロモーション“1日限定！今年のウンだめし！チョー早く出る!? 腸ガチャ無料イベント”を実施いたしました。イチジク浣腸の特性を体験してもらえる超速く出る巨大「腸ガチャ」を東京スカイツリータウンにある東京ソラマチ ソラマチひろば（イチジク製薬から徒歩5分）に設置し、「腸ガチャ」を通して商品特性の疑似体験を842名もの参加者に体験していただきました。

また、PR、SNS（Twitter/Facebook）を通して、当日までの告知ストーリーを作り、期待感を醸成。当日は、リアルタイムに現地の雰囲気発信、イチジク浣腸の日を通じて、普段イチジク浣腸を意識しない人に対しても「告知」や「気づき」、そして「ファン化」に寄与することができたと感じています。



巨大「腸ガチャ」とイチジク製薬親善大使かんちゃん

「Panther / パンサー」“東京コレクション”デビュー!

世界長ユニオン株式会社では、1964年、アジア初の東京オリンピックの年に誕生したスポーツシューズ「Panther / パンサー」を2016年にシューテックオカモトにて完全復刻。人気スニーカーショップなどで取り扱われたことで一躍注目を集め、2018年、ついに世界的なファッションの祭典においても注目されることになりました。2018年3月19日～24日に渋谷ヒカリエ内ヒカリエホールにて行われた「Amazon Fashion Week TOKYO」（東京コレクション）にて、アパレルブランド「MUZE」と大塚製薬の「カロリーメイト」とコラボレーションし、パンサーを着用したモデルらがステージに登場し、ランウェイショーを行いました。“ファッション・ウィーク”とは、年2回、世界のファッション都市で開催されているファッションの祭典で、ファッション・ショーや展示会で発表される最新コレクションから、次のシーズンのトレンドが生まれています。世界のファッション・ウィークの中でも、歴史性、話題性から情報発信力が大きく、パリ、ミラノ、ロンドン、ニューヨーク、そして東京の5都市で行われるものは、「5大ファッション・ウィーク」と総称され、大きな影響力を持っています。今後もパンサーの躍進にご期待ください。



「カロリーメイト」カラーのラインが入ったパンサー



ランウェイショーの様子

オカモトの社会貢献活動

よりよい社会を実現するためにさまざまなCSR活動に取り組んでいます。

世界エイズデーイベント「オカモトLOVERS研究所 presents 2017. 世界エイズデーレッドリボン・ペアサイバークライミング」実施!

当社は、12月1日の世界エイズデーに合わせた啓発イベントとして、2017年12月15日（金）・16日（土）に渋谷MODIの店舗プラザにてベネトン ジャパン株式会社 / 公益財団法人エイズ予防財団と共催、厚生労働省、東京都、渋谷区の後援のもと「オカモトLOVERS研究所 presents 2017. 世界エイズデーレッドリボン・ペアサイバークライミング」を実施いたしました。会場では、STI関連情報冊子や Condom などの啓発資材を配布しました。また、東京初となる「サイバークライミング」を使ったペアゲーム「愛を集める!! クライムボール」を実施し、このイベントを通して、参加者に対してHIV/AIDSやSTI（性感染症）について考えるきっかけを与える取り組みとなったのではないかと感じております。2日間でサイバークライミングには269名の参加、啓発資材は5,100セットを配布いたしました。

今後も Condom 業界のリーディング・カンパニーとして、HIV/AIDSをはじめとする性感染症や望まない妊娠といった課題がある限り、自分とパートナーを守る「セーフセックス」の理解を深め、エイズ問題を風化させないためにイベントやWEBサイトなどを通じた情報発信に積極的に取り組んでまいります。



ペアサイバークライミングの様子

献血によるボランティア活動



本社前に駐車した献血車

当社では、CSR活動の一環として、本社および各工場に年に2回、日本赤十字社の献血に協力しています。日本赤十字社の方にお越しいただき、社内だけではなく近隣企業の従業員の方、また近所にお住まいの方など多くの方にもご協力いただいております。

2017年も約100名の方にご協力いただきました。

今後も当社は、献血によるボランティア活動を通じて、社会貢献してまいります。

子会社紹介

イチジク製薬株式会社

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発したことにはじまり、以後90年以上にわたり「イチジク」ブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。

便秘は、男女年齢問わず、とても身近な問題であり、時には深刻な症状にも発展するおそれのあるものです。浣腸は、飲まない便秘の薬として、0歳児用から成人用まで、高品質で豊富なラインアップの商品を取り揃えております。特に赤ちゃんを持つ若いお母様方へ赤ちゃんの便秘について啓発活動を積極的に取り組んでいます。

現在、スカイツリーから徒歩数分の場所に本社工場を構えております。当社グループ唯一の製薬会社として、今後も浣腸一筋で精進してまいります。



▼イチジク浣腸 30
「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして35年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



船堀ゴム株式会社

1959年、東京都江戸川区船堀の地で創業して以来、コンドームと同じ天然ゴムラテックスを主たる原材料とした「工業用指サック」を製造販売するメーカーです。

「薄くて・丈夫で・柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かした製品のため、電子・精密機器部品などの製造現場で使用されています。

さらに、硫黄・亜鉛の混入を嫌う顧客向けの製品や、帯電防止製品等の特殊な製品も取り扱っているほか、2013年にはオカモトグループとなったシナジー効果を生かし、業務用コンドームの販売も開始しております。また2014年9月に業務用コンドームなどのルートに潤滑剤付の指サック「指ドーム」を発売しています。



▲2014年9月に発売された「指ドーム」。

オカモト化成株式会社

主に当社の汎用プラスチック・フィルム製品の販売窓口として設立され、現在ではフィルムの原反のみならず、農業用フィルム・粘着テープ・食品用ラップ・手袋・長靴・雨衣なども販売する会社です。

当社の各事業部と協働しながら、当社とは異なる視点で営業活動を展開しており、きめ細かいサービスを提供しております。また、独自に加工・施工のネットワークを構築し、これらを駆使して顧客のさまざまなニーズにえています(右写真は中部事業所にてフィルムを加工している模様です)。こうした幅広い活動を通じて、当社の販路開拓・事業拡大に貢献しています。



ヒルソン・デック株式会社

1980年の創業以来、第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が器具を滅菌する際に使用する滅菌器を製造してきた専門メーカーで、2000年に当社の子会社となりました。

病院・診療所・歯科医院などのお客様の用途に応じて、フロア設置型から卓上型まで豊富なラインアップを取り揃え、当社を通じて販売しております。

滅菌器の製造を通じて、医療の現場に密接に関わり、医療業界全体の発展のため貢献してまいります。



世界長ユニオン株式会社

1919年創業の「大阪ゴム底足袋株式会社」(1964年、世界長株式会社に商号変更)と、1952年創業の「ユニオン製靴株式会社」(1990年、株式会社ユニオン・ロイヤルに商号変更)に、当社シューズ事業部

が統合した会社です。革靴・スニーカー・スポーツ靴を製造・販売しており、オリジナルブランドのTOPAZ(トパーズ)、Dr.ASSY(ドクター・アッシー)、Panther(パンサー)、Union Imperial(ユニオン インペリアル)やライセンスブランドのMARELLI(マレリー)、NewYorker(ニューヨーカー) a.v.v(アー・ヴェー・ヴェー)などを展開しております。また、現在も日本国内において天然皮革の製靴工場を運営しており、同工場に勤務する職人たちを中心として、長年にわたり培った技術を発揮し、「世界に誇る靴づくり」をマーケットに発信してまいります。



▲世界に誇る技術



▲Dr.ASSYイメージキャラクターの渡辺正行さん

理研コランダム株式会社

1935年に財団法人理化学研究所で開発された研磨材をもとに、研磨布紙の製造販売を目的として設立された会社です。各種研磨布紙、研磨材、研磨用品などの製造・販売を行っています。2015年に当社と資本業務提携を行い、2017年9月より当社の連結子会社となりました。埼玉県鴻巣市の本社・鴻巣工場を始めとして、群馬県に2つの工場、岩手・東京・名古屋・大阪・福岡に営業所があります。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(http://www.okamoto-inc.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

証券会社に口座をお持ちの場合

郵便物送付先	
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。
お取扱店	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、下記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

特別口座の場合

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。



New Basic
身近な暮らしを科学する
オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
(03)3817-4111(代表)

<http://www.okamoto-inc.jp/>

